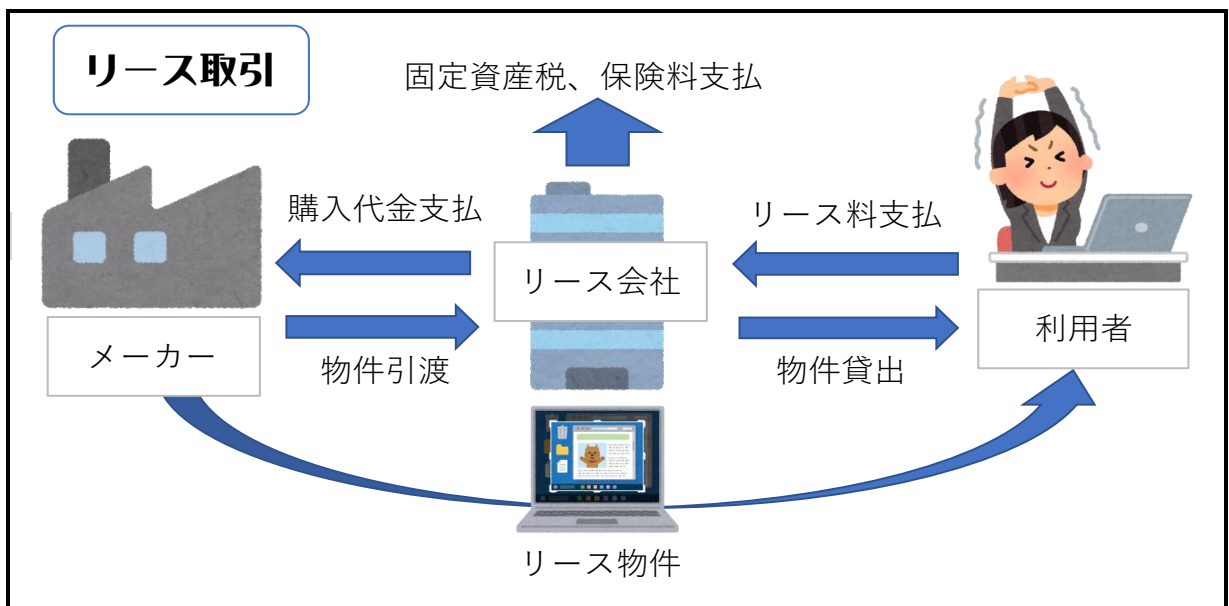




## リースか？購入か？？

### リースの概要



リース取引は、利用者の希望するもの（リース物件）をリース会社が購入し、それを利用者に貸し出す取引です。利用者は、リース物件を借りて使わせてもらう対価として、リース料をリース会社に支払います。

リース物件の所有権はあくまでリース会社にあるので、物件にかかる固定資産税や保険料はリース会社が負担します。リース料はこれらの諸費用を含めて設定されるわけですが、利用者は毎月定額のリース料を支払うだけで良く、管理しやすいというメリットがあります。

### リース料率って？

リースをする際、「リース料率」という言葉がでてきます。

$$\text{リース料率} = \text{月額リース料} \div \text{物件購入額}$$

算式はよいとして、「リース料率2%」と言われると、なんとなく「2%の金利で貸してもらおう」イメージが出てきやすいのではないのでしょうか。

ここで、100万円の機械をリース料率2%で5年間リースすることを考えてみましょう。この場合、毎月支払うリース料は2万円となり、5年間の総支払金額は120万円となります。100万円の機械なのに、20万円も多く払うこととなります。これは金利にすれば約7.4%。誤解しがちですが、リース料率と金利はまったく異なるのです。

### それなら借入して購入したら？



次は上図のように、100万円を金利2%・5年間の条件で銀行から借入れ、100万円の機械を自分で購入するケースを見てみましょう。この場合、5年間の支払（返済と利息支払）合計額は105万円ほどになります。前出のリースの場合では120万円だったのに対し、銀行借入をした場合は105万円、その差は15万円にもなります。

ただし、図を比べてわかるとおり、借入&購入のケースでは利用者本人が固定資産税や保険料を支払わなければなりません。また、借入時には印紙代や事務手数料なども発生しますので、単純にリースの方が15万円高いというわけではありませんが、リース料にはリース会社手数料などのコストがしっかりと含まれているのです。

### リースにするか、購入にするか

手元資金が十分にある場合は、購入した方が余計なコスト負担がなく有利と考えられます。一方、手元資金が心もとない状況や、借入ができない又は他の投資で借入枠を使いたい等の状況下では、リースは有効な選択肢になり得ます。リースは毎月定額の支払だけで済み管理が楽なのが魅力的です。ただ、高額な物件の場合などはコスト負担が重くなる可能性がありますので、慎重に検討しましょう。

(文章 石島慎二郎)

# 雨中の東京マラソン奮闘記

石島洋一



歩いているのではなく、走っているのです

## 大迫選手のリタイア

「東京マラソン完走しました」

「えっ、あの雨の中を走ったの？しかも完走！！あの大迫選手だってリタイアしたのに、すごいね」

天気予報では夕方から雨のはずが、なんと朝から雨。でも私にとっては最後のマラソン。雨中の激闘も良いか…、びしょ濡れになってゴールテープを切るヒーローイメージは勝手に出来あがっていました。

今回参加者3万8千人のうち、70歳以上はわずか1.5%、この数字を見て、改めて自分が高齢であることに気がつきました。それまでは痴呆のせいでしょうか、自分が高齢者であることを忘れていました。人間は客観的に自分を見つめることはなかなか出来ないものです。

## スタートのハンデ

東京マラソンでは、8:30までに荷物を預けなくてはなりません。スタートは9:10。それだけでも最低40分間、雨の中で震えているのです(好き好んでやることではありません)。さらに号砲が鳴っても私たち最後尾のグループがスタートできるのはそれから30分後。

トップランナーが、新宿をスタートし日本橋に着く頃、ようやく私たちはスタートです。普通、ハンデというのは弱者に対して特典を与えるのですが、東京マラソンでは弱き者(遅い人)が最初から30分ものハンデを負っているのです。これではトップランナーに追いつけない、最初から優勝は諦めざるを得ません(笑)。

## ランナー以上に大変だった応援団



余裕の家族写真…レース中なのに時間など全く気にしていない様子

見ず知らずの人から声援を受けるのは嬉しいですが、知っている人の応援は、その何十倍も嬉しいものです。降りしきる雨の中を、顧問先の方、同じマンションに住んでいる人、事務所の面々、家族……多くの人が声をかけてくれるのが大きな励みにもなりました。

中には、応援したあと、その

まま早足で私を追い抜き、再び応援してくれる人もいました。つまり、「選手」よりも観客の方が速いのです。これは選手としてのプライドを大きく傷つけるものでした（笑）。

それにしても今回は雨で、しかも寒かったので、応援は本当に大変だったと思います。正直、走っている方は体が温まりますし、さほど寒さを感じません。しかし、応援して下さっている方はものすごく寒いでしょうから、それを思うと感激でポタポタ、ポタポタ…（落ちたのは雨かも知れません）。本当に感謝です。

### 快挙だった関門通過

私は、今回の東京マラソンで快記録（怪記録？）を達成できたと思っています。それは 35k までの関門すべてを閉門数分前に通過したことです。これは、一流のランナーには出来ない快挙です。

そんなわけで、時間ギリギリではありましたが、なんとかゴール。「こんな雨では参加しないだろう」「途中で収容バスに乗るだろう」という多くの予想を裏切り、ゴールテープを切ることができたのです（ちなみに私がゴールするときには、ゴールテープはありません）。

### 一番の思い出は「駄目親父」と「孝行息子」

今回で東京マラソンは 6 回目、その中で、私にとって一番良き思い出は、数年前に現所長慎二郎と親子で、スタートからゴールまで一緒に走ったことです。胸に私は（マラソンだけは）『駄目親父』と書き、慎二郎は（今日だけは）『孝行息子』と書いて走ったのです。

ものすごく大きな声援でした。人生であんなに多くの人から、あんなに大きな声援を受けたことはありませんでした。あのときの声援は今でも耳に残っています。

10 年ほど前まで、自分がフルマラソンを走るなんて想像すらしませんでした。

半分余興みたいな感じで出場した東京マラソンでしたが、この経験は自分の人生に大きな花を添えてくれたと思っています。

苦しいこともあったけれど、楽しいマラソン挑戦でした。何かにチャレンジすることで、そこから大きな価値や感動が生まれてくる…、そんなことを教えてくれたのが、東京マラソンだったような気がします。



（盆踊り風景ではありません）

（了）